# 【教員住宅編】

このシートは、 2022 2021 調査実施分 ファシリティコスト分　　No. 203

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 若葉町教員住宅（10号棟） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 203 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 若葉町2丁目2番地 （　北広島団地　） | 敷地面積 | 10,628 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 昭和53 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | RC | 延床面積 | 1,589 ㎡ | 経過年数 | 44 年 |
| 階数（地上） | 5 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 572,040 千円 | 法定耐用年数 | 47 年 | 市民1人当たり更新コスト | 9,937 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 13 人 | 16 人 | 8 人 | 12 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | 828 |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | 828 |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | 116 |
| | 火災保険料 | 31 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 147 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 147 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 12,250 円/人 | 3 円/人 | 93 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H27 | 減圧弁設置 | 1,912 | | | |
| H28 | 302・502・501・502・302・404104・101・204ほか修繕 | 1,021 | | | |
| H30 | 混合栓ほか内部修繕 | 946 | | | |
| R1 | 内部修繕ほか | 1,374 | | | |
| R2 | 内部修繕ほか | 750 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

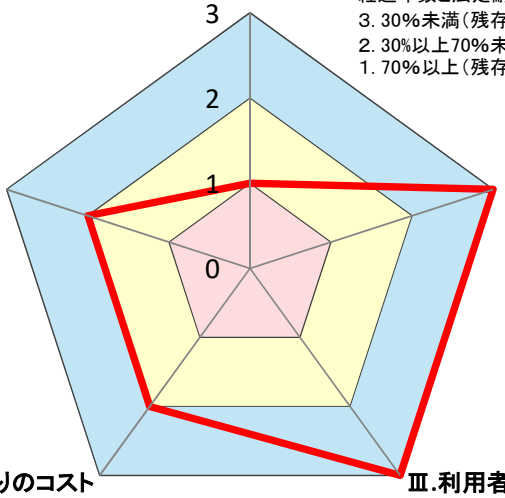
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




**Ⅰ.老朽化状況**

経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

**Ⅱ.耐震性能**

耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

**Ⅲ.利用者負担の割合**

3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

**Ⅳ.市民1人当たりのコスト**

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

**Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト**

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 94 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | 563 （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | 3 （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 93 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担で費用が賄える（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは標準的（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 204

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 若葉町教員住宅（11号棟） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 204 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 若葉町2丁目2番地 （　北広島団地　） | 敷地面積 | 10,628 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 昭和53 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | RC | 延床面積 | 1,563 ㎡ | 経過年数 | 44 年 |
| 階数（地上） | 5 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 562,680 千円 | 法定耐用年数 | 47 年 | 市民1人当たり更新コスト | 9,775 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 16 人 | 13 人 | 13 人 | 14 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | 1,498 |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | 1,498 |

| 支出 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| ①施設維持コスト　修繕料 | 460 |
| 火災保険料 | 31 |
| 維持管理委託料 | － |
| 敷地借上料 | － |
| 工事請負費 | － |
| その他維持費 | － |
| 小　計 | 491 |
| ②施設運営コスト　人件費 | － |
| 光熱水費 | － |
| 運営委託料 | － |
| その他運営費 | － |
| 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | 491 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 35,071 円/人 | 9 円/人 | 314 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H27 | 減圧弁設置 | 1,912 | | | |
| H28 | 402混合栓修繕 | 42 | | | |
| H30 | 暖房管ほか内部修繕 | 887 | | | |
| R1 | 暖房管ほか修繕 | 435 | | | |
| R2 | 給湯管修繕ほか | 357 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

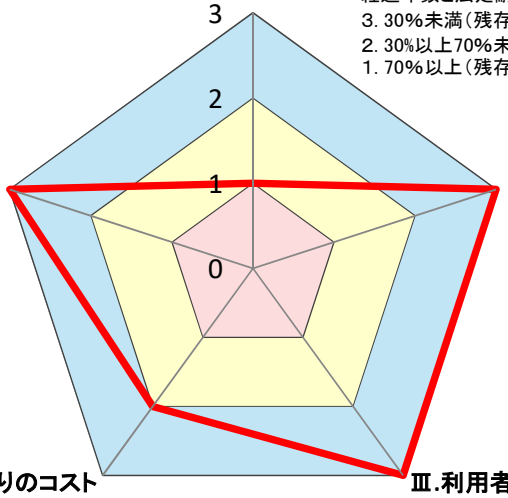
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




**Ⅰ.老朽化状況**

経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

**Ⅱ.耐震性能**

耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

**Ⅲ.利用者負担の割合**

3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

**Ⅳ.市民1人当たりのコスト**

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

**Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト**

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 94　（%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | 305　（%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | 9　（円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 314　（円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担で費用が賄える（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは標準的（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 205

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

調査実施年度：令和4年度

| 施設名 | 西の里小学校（校長宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 205 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 西の里401番地 （　西の里　） | 敷地面積 | 5,046 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成9 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 85 ㎡ | 経過年数 | 25 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,600 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 532 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 1 人 | 人 | － 人 | 市直営 |

ファシリティコスト　令和3年度分　施設コスト

**①施設維持コスト** 建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト** 公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 4 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 4 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 4 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | － 円/人 | 円/人 | 47 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H30 | 給湯器取替え修繕 | 50 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

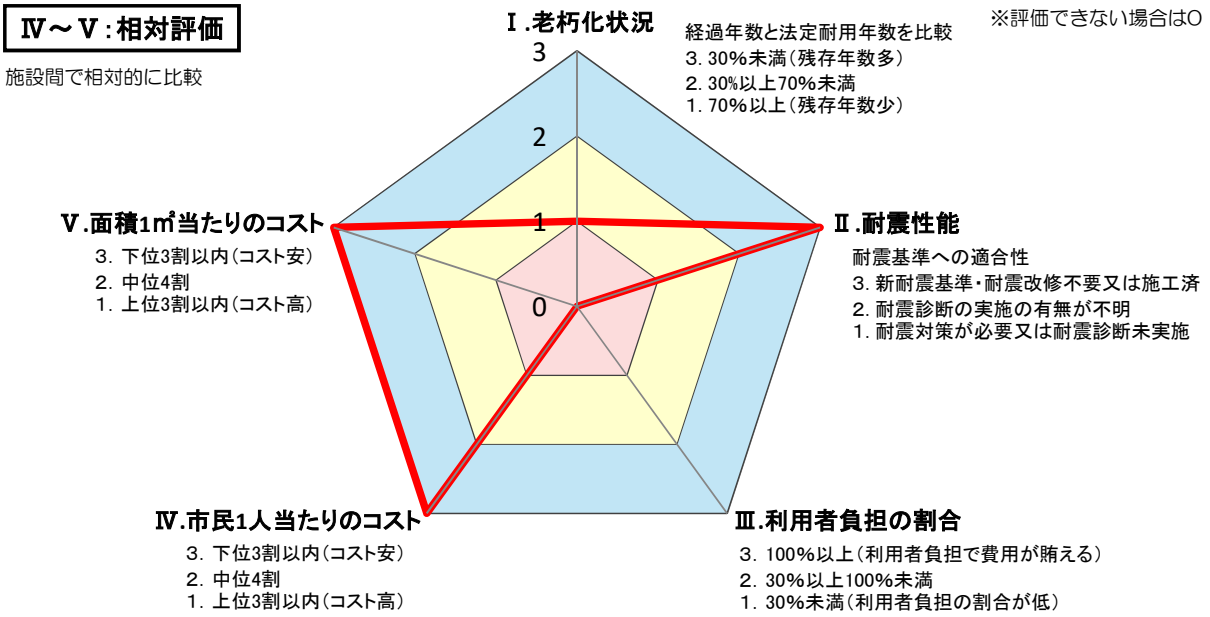
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 114 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 47 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 206

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 西の里小学校（教頭宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 206 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 西の里401番地 （　西の里　） | 敷地面積 | 5,046 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成9 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 85 ㎡ | 経過年数 | 25 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,600 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 532 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 1 人 | 人 | － 人 | 市直営 |

ファシリティコスト　令和3年度分　施設コスト

**①施設維持コスト** 建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト** 公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 4 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 4 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 4 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | － 円/人 | 円/人 | 47 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

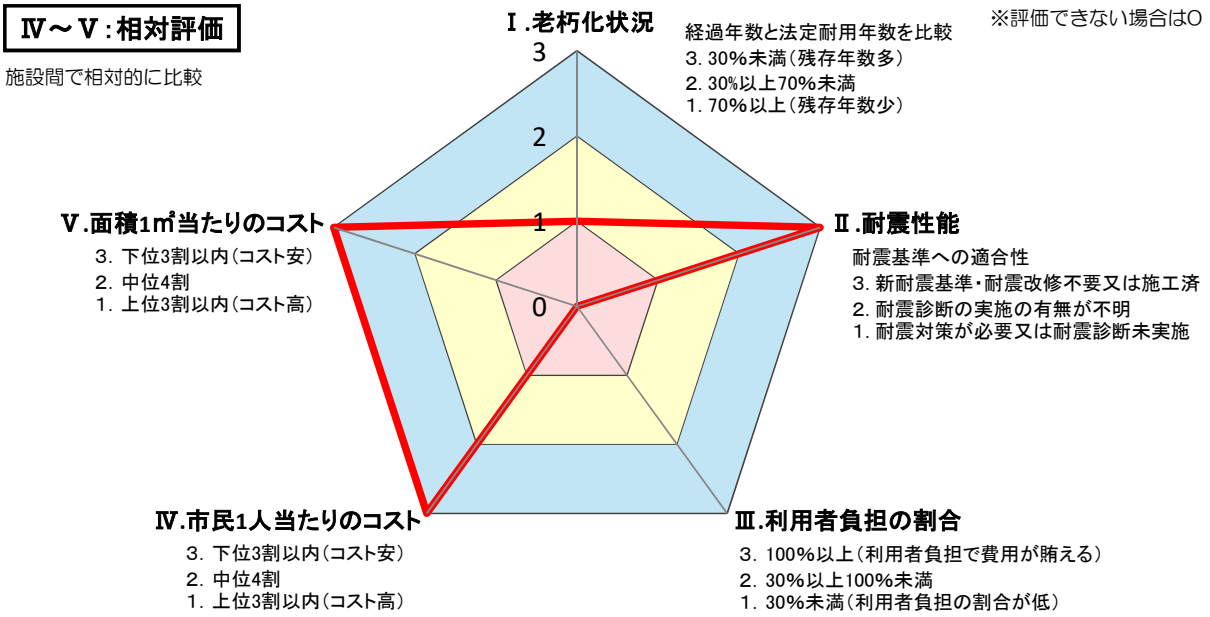
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 114 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 47 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 207

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 緑ヶ丘小学校（校長宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 207 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 高台町1丁目9番地<br>（　北広島団地　） | 敷地面積 | 2,962 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成12 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 86 ㎡ | 経過年数 | 22 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,960 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 538 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 人 | 1 人 | 人 | 1 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 5,000 円/人 | 円/人 | 58 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

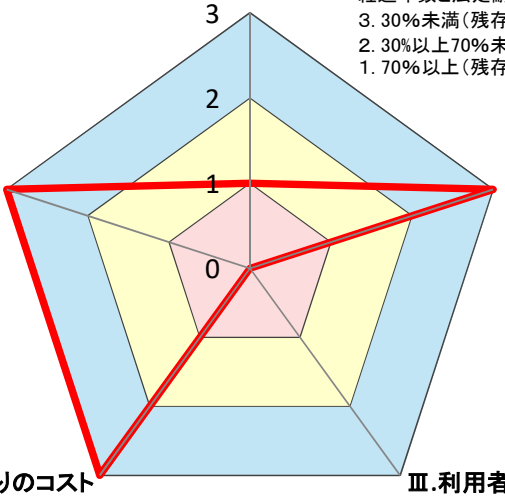
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




**Ⅰ.老朽化状況**
経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

**Ⅱ.耐震性能**
耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

**Ⅲ.利用者負担の割合**
3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

**Ⅳ.市民1人当たりのコスト**
3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

**Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト**
3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 100 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 58 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 208

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 緑ヶ丘小学校（教頭宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 208 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 高台町1丁目9番地 ( 北広島団地 ) | 敷地面積 | 2,962 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成12 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 86 ㎡ | 経過年数 | 22 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,960 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 538 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 人 | 1 人 | 人 | 1 人 | 市直営 |

ファシリティコスト　令和3年度分　施設コスト

**①施設維持コスト** 建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト** 公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 5,000 円/人 | 円/人 | 58 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H28 | テレビアンテナ修繕 | 9 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

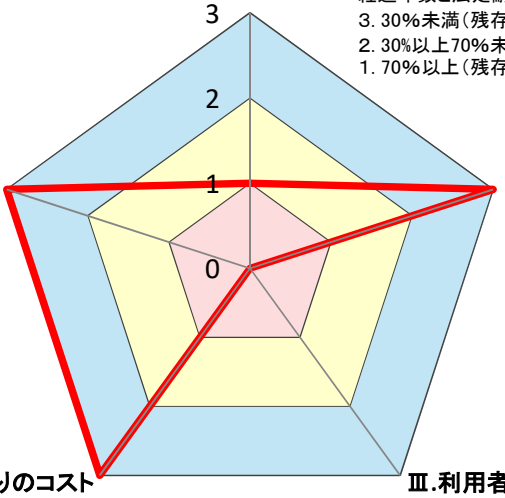
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




**Ⅰ.老朽化状況**
経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

**Ⅱ.耐震性能**
耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

**Ⅲ.利用者負担の割合**
3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

**Ⅳ.市民1人当たりのコスト**
3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

**Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト**
3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 100 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 58 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 209

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 双葉小学校（校長宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 209 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 若葉町3丁目12番地<br>（　北広島団地　） | 敷地面積 | 28,719 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成11 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 85 ㎡ | 経過年数 | 23 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,600 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 532 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 人 | 1 人 | 人 | 1 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 5,000 円/人 | 円/人 | 59 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H30 | 外壁修繕 | 26 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

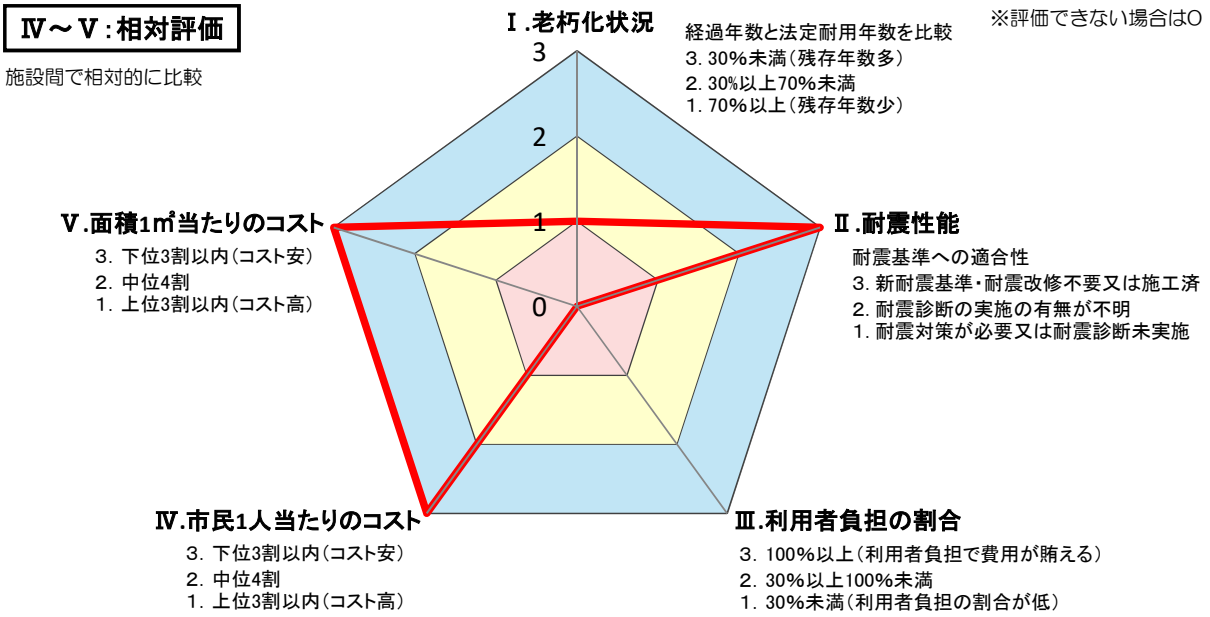
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 105 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 59 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 210

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 双葉小学校（教頭宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 210 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 若葉町3丁目12番地<br>（　北広島団地　） | 敷地面積 | 28,719 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成11 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 85 ㎡ | 経過年数 | 23 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 30,600 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 532 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 人 | 1 人 | 人 | 1 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 5,000 円/人 | 円/人 | 59 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| R2 | 水道止水栓修繕 | 13 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

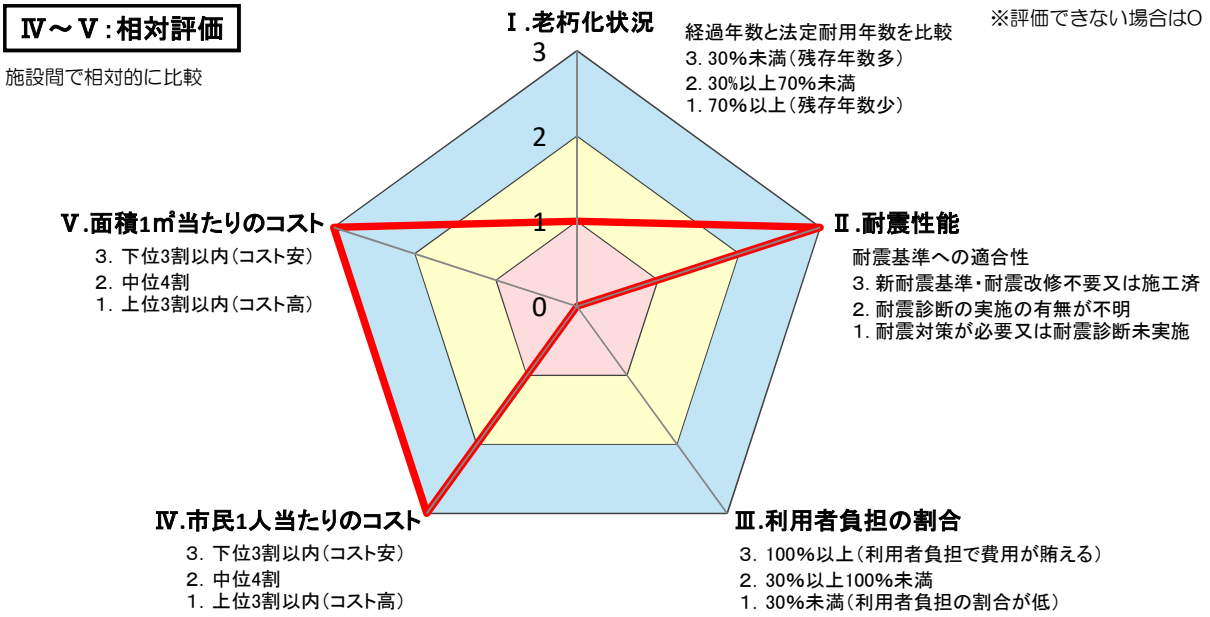
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 105 （%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | － （%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 59 （円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 211

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 広葉中学校（校長宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 211 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 広葉町5丁目1番地<br>（　北広島団地　） | 敷地面積 | 36,654 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成10 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 88 ㎡ | 経過年数 | 24 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 31,680 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 550 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 1 人 | 人 | － 人 | 市直営 |

ファシリティコスト
令和3年度分
施設コスト

**①施設維持コスト**
建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト**
公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | － 円/人 | 円/人 | 57 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H30 | 排水修繕 | 5 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

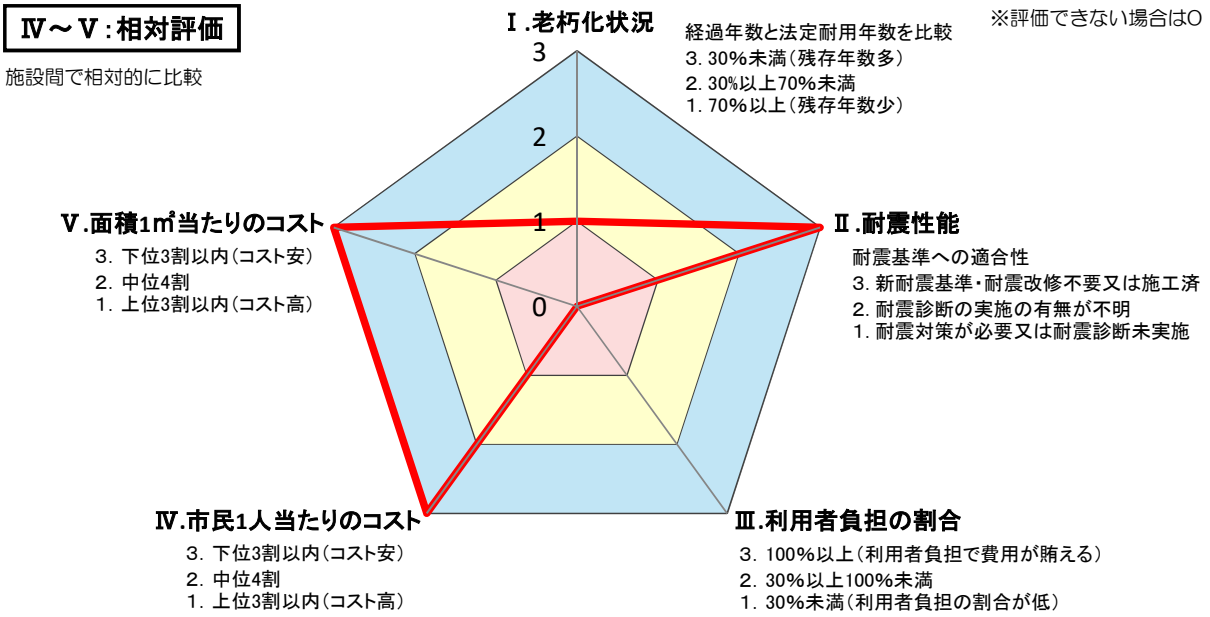
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 109　（%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | －　（%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 57　（円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |

このシートは、 2022 調査実施分 / 2021 ファシリティコスト分　　No. 212

57,566 人

# 北広島市　公共施設カルテ

| 調査実施年度 | 令和4年度 |
|---|---|

| 施設名 | 広葉中学校（教頭宅） |
|---|---|

| 大分類 | その他 | 中分類 | その他 | 施設番号 | 212 |
|---|---|---|---|---|---|

| 所管部課 | 教育総務課 |
|---|---|

## 1　土地データ

| 所在地（地区） | 広葉町5丁目1番地 （　北広島団地　） | 敷地面積 | 36,654 ㎡ |
|---|---|---|---|
| | | うち借地面積 | － ㎡ |

## 2　建物データ

| 複合・併設施設 | － | | | 建築年度 | 平成10 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建物構造 | W | 延床面積 | 88 ㎡ | 経過年数 | 24 年 |
| 階数（地上） | 1 階 | 階数（地下） | － 階 | 避難所指定 | 指定無し |
| 概算更新コスト | 31,680 千円 | 法定耐用年数 | 22 年 | 市民1人当たり更新コスト | 550 円/人 |

## 3　管理運営データ

| 利用状況 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 平均利用者数 | 管理形態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 人 | 1 人 | 人 | 1 人 | 市直営 |

ファシリティコスト　令和3年度分　施設コスト

**①施設維持コスト** 建物を良好に保つために要する経費
＋
**②施設運営コスト** 公共サービスを提供するために要する経費

| 収入 内訳 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利用料等 | － |
| 国　費 | － |
| 道　費 | － |
| その他 | － |
| 市費（一般財源） | － |
| 合　計 | － |

| 支出 内訳 | | 金額（千円） |
|---|---|---|
| ①施設維持コスト | 修繕料 | － |
| | 火災保険料 | 5 |
| | 維持管理委託料 | － |
| | 敷地借上料 | － |
| | 工事請負費 | － |
| | その他維持費 | － |
| | 小　計 | 5 |
| ②施設運営コスト | 人件費 | － |
| | 光熱水費 | － |
| | 運営委託料 | － |
| | その他運営費 | － |
| | 小　計 | － |
| 合　計（①＋②） | | 5 |

| コスト計算 | 平均利用者数1人当たり | 市民1人当たり | 延床面積1㎡当たり |
|---|---|---|---|
| 単位コスト | 5,000 円/人 | 円/人 | 57 円/㎡ |

## 4　修繕履歴

| 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） | 実施年度 | 内容 | 工事費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| H30 | 排水修繕 | 5 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 5　特記事項

## ６　データ分析

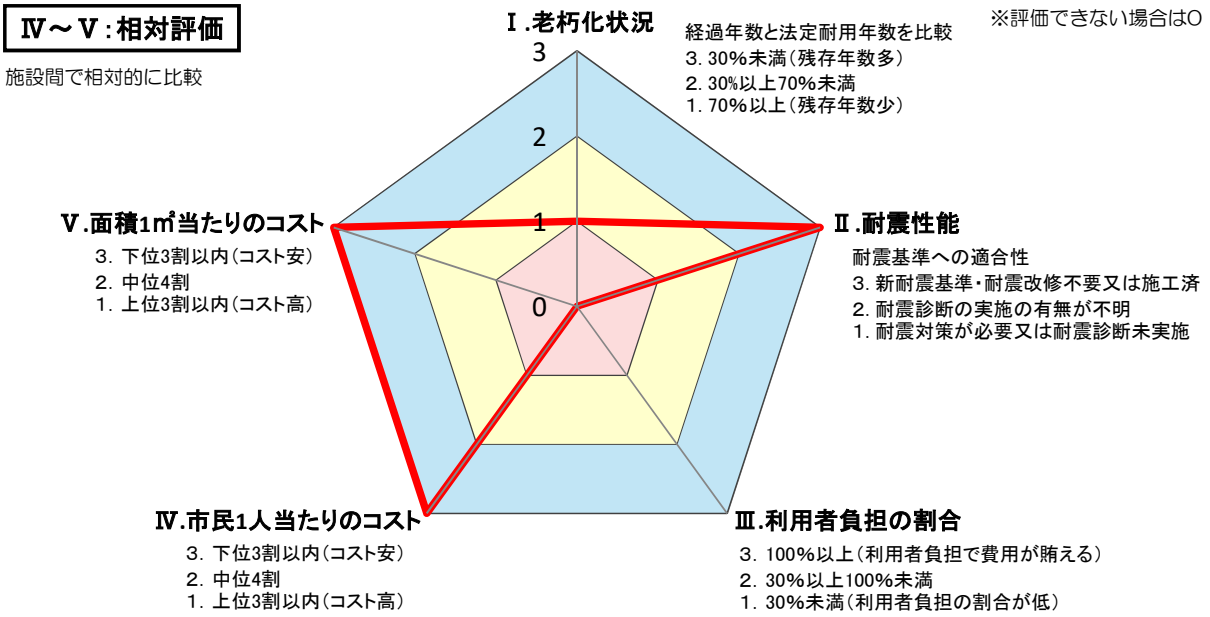
### レーダーチャート

**Ⅰ～Ⅲ：絶対評価**

※評価できない場合は0

**Ⅳ～Ⅴ：相対評価**

施設間で相対的に比較




### レーダチャートで示す５つの指標

| | | |
|---|---|---|
| **Ⅰ.老朽化状況** | **建物の老朽化を示す指標（%）**<br>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示<br>（経過年数÷法定耐用年数）<br>数値が高いほど老朽化が進んでいる。 | 109　（%） |
| **Ⅱ.耐震性能** | **建物の耐震安全性を示す**<br>耐震性能の有無と対策の必要性を表示<br>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か<br>対策実施済。 | 耐震性能あり |
| **Ⅲ.利用者負担の割合** | **ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標**<br>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト）<br>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。<br>利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。 | －　（%） |
| **Ⅳ.市民1人当たりのコスト** | 市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷人口<br>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。 | （円/㎡） |
| **Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト** | 延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標<br>支出合計÷延床面積<br>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。 | 57　（円/㎡） |

| | |
|---|---|
| 総　合　評　価 | 経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。<br>利用者負担は評価できない（Ⅲ）。市民一人当たりのコストは低い（Ⅳ）。<br>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（Ⅴ）。 |